



※開花時期は、その年の気象状況などにより左右されますのでご了承ください。

文化財庭園へご来園の皆様へ

都立庭園は、江戸、明治、大正時代から続く歴史・文化・自然を兼ね備えており、何れも国や都の文化財に指定されています。震災や戦災、進む都市化の中で残された貴重な存在であり、この貴重な存在がよりよい状態で後世に残るよう、皆様にご理解とご協力をお願いいたします。

【庭園からのお願い】

- ペット（動物）を連れてのご入園、園内の動植物の採集、敷物の利用、酒類の持込みはご遠慮ください。
- 写真撮影、写生は建物・添景物保護のためにお断りする場所があります。
- 文化財は定期的な保存修理工事を要することがあり、一部ご観賞いただけない部分があります。

都立文化財9庭園

- 浜離宮恩賜庭園
- 旧芝離宮恩賜庭園
- 小石川後楽園
- 六義園
- 旧岩崎邸庭園
- 向島百花園
- 清澄庭園
- 旧古河庭園
- 殿ヶ谷戸庭園

国指定名勝

殿ヶ谷戸庭園(随宜園)

- 開園年月日
昭和54(1979)年4月1日
- 開園面積
21,123.59㎡
〔内訳 有料庭園 17,694.12㎡
児童公園 3,429.47㎡〕
- 開園時間
午前9時～午後5時
(入園は午後4時30分まで)
※イベント開催期間などで
時間延長が行われる場合もあります。
- 休園日
年末年始(12/29～1/1)
- 無料公開日
みどりの日(5月4日)
都民の日(10月1日)
- 庭園ガイド(無料)
土・日・祝(午前11時、午後2時の1日2回)

【お問合せ先】
殿ヶ谷戸庭園サービスセンター
☎042-324-7991
〒185-0021 東京都国分寺市南町2-16

ス タ ンプ 欄

入 園 料	個人	団体 (20名以上)	年間パスポート (殿ヶ谷戸庭園)	年間パスポート (9庭園共通)
	一般 150円 65歳以上 70円	120円 50円	600円 280円	4,000円 2,000円
無料	小学生以下(要付添)及び中学生(都内在住もしくは在学) 身体障害者手帳、愛の手帳、精神障害者保健福祉手帳 または療育手帳持参の方と付添の方			
集会施設	①午前の部 9:00～12:30	②午後の部 13:00～16:30	③1日 9:00～16:30	
	紅葉亭(30名)	4,000円	4,000円	8,000円

※6ヶ月前の同日午前10時から受け付けます。別途入園料が必要です。



【交通のご案内】

《電車》

JR中央線、
西武国分寺線、
西武多摩湖線
「国分寺」下車
南口より徒歩2分

※駐車場はありません。

公園へ行こう!

検索

発行：文化財庭園課 TEL.03-3232-3018

お客様サポートセンター(協会事業全般に関するお問い合わせ)
TEL.03-3232-3038 ※8:30～17:30(土・日・祝日、年末年始を除く)
指定管理者 公益財団法人 東京都公園協会
<https://www.tokyo-park.or.jp>

22.10

国指定名勝

とのがやとていえん ずいぎえん 殿ヶ谷戸庭園(随宜園) Tonogayato Gardens (Zuigien)

武蔵野の山野草と湧水の庭



指定管理者 公益財団法人 東京都公園協会

武蔵野の野草と湧水

武蔵野段丘の南縁の「国分寺崖線」と呼ぶ段丘崖とその下端部付近の礫層から浸出する湧水を利用し、雑木林の風致を生かして作られた近代の別荘庭園です。

三菱合資会社の社員で、後に南満州鉄道副総裁から貴族院議員にもなった江口定條は、大正2年(1913)～4年(1915)にこの地に別荘を構え、「随宜園」と命名しました。昭和4年(1929)に、三菱合資会社の取締役役であった岩崎彦彌太が江口家から別荘を買取り、「国分寺の家」として親しむようになりました。彦彌太は、昭和9年(1934)に和洋折衷の木造主屋に建て替え、庭園建築として紅葉亭を新築するとともに、主屋前面の芝生地と崖線下方の湧水及び園地とを結んで、回遊式庭園を完成させました。

庭園の段丘上には芝生地が広がる洋風庭園があり、崖線の傾斜面はアカマツ・モミジ・竹林・クマザサで覆われ、崖線下には湧水の次郎弁天池を中心とした和風庭園があります。

昭和40年代の周辺の開発計画に対し本庭園を守る住民運動が発端となり、昭和49年に都が買収し、整備後、有料庭園として開園し、平成23年9月21日に殿ヶ谷戸庭園(随宜園)として国の名勝に指定されました。

次郎弁天池

武蔵野台地には、武蔵野段丘と立川段丘の2つの河岸段丘があります。河岸段丘とは、河川の中・下流域に流路に沿って発達する階段状の地形のことで、こうした段丘面は地下水面が浅く、段丘崖の下には湧水が出ていることが多く見られます。本庭園も地下水が湧出するハケ(崖線)が敷地内にあり、この湧水を利用して作られたのが「次郎弁天池」です。周囲には、モミジなどの樹木が繁っています。



紅葉亭

数寄屋造り風の茶室。その名の通り、池にかかる見事なイロハモミジの紅葉が見下ろせます。茶会・句会などに利用できます。

鹿おどし

紅葉亭のすぐ脇には、井戸水を利用した鹿おどしがあり、庭園に響く音が風情を加えます。僧都ともいいます。本来はイノシシやシカを追い払うためにつくられました。



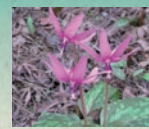
エビネ



ヤマユリ



ホタルブクロ



カタクリ



殿ヶ谷戸とは…

庭園の名称は、昔この地が国分寺村殿ヶ谷戸という地名であったことに由来します。

馬頭観音

国分寺市内に11基残る馬頭観音のひとつ。かつて馬は生活に欠かせない動物として大切にされ、供養のために祀られたのが馬頭観音です。



竹の小径

次郎弁天池に通じる竹林を走る道。都内に現存する日本庭園には珍しい孟宗竹の竹林があります。

花木園



藤棚

4月下旬頃に見頃を迎えるフジの花。岩崎家時代からあるフジです。

萩のトンネル

秋を彩る小さな紫の花をつける萩。

9月中旬頃に見頃を迎え、トンネルを覆うように萩のトンネルが現れます。

本館

岩崎彦彌太の別邸として、昭和9年に建てられた洋館。内部は日本間と洋間が融和した和洋折衷の形式となっていました。

